

る温室内を巡覧され、アチラ、コチラでシャッターを切られ眼を楽しまれました。こんなに見事に咲いているのを見たのは初めてである。続いて第2温室ではキングココヤシ、マンゴウ、ストラスリンゴウ、パパイヤ、アボカド…等の果樹室で甘い？郁な香りを満喫されました。

十三時四十三分洋ランパークを出発する。正面に富士山を望みながら国道136号線を北上して柿田川公園に十四時二十分に到着。柿田川公園は静岡県駿東郡清水町の国道1号線南側に位置して、第一展望台と第二展望台があり、楠等の緑濃き園内を皆さん早速三三・五五巡覧される。柿田川湧水郡の数のわき間より、コバルトブリユウの神秘的な姿も美しい湧水がポコポコと砂をふき上げている光景は誠に壯観である。昨年秋季例会での忍野八海と同じく、富士山の伏流水で此処迄何年もかかって流れて来て湧き出して、その湧出量

は日量百万屯で沼津市、清水町、三島市、熱海市…等の飲料水、工業用水、農業用水に利用され、その水質は抜群に良質で、名水百選に忍野八海、関西の宮水、布引溪流…等と共に選定されていると言われている。水飲み場で皆さんカルクの臭味のない、その清冽さを堪能された事でせう。

十四時五十七分出発して沼津ひものセンターに十五時七分に到着。皆さん数多くの海産物をご覧になられ、お土産にあれこれこれに買い込まれバスは十五時二十四分出発する。バスは間もなく沼津I・Cを通過して東名高速に入り順調に走行、しばらくして至れり尽くせりの幹事さんより伊豆名産のわさび漬のお土産を戴き、又安東さんより秋季例会で元気で再会しませう…のご丁寧なお別れのご挨拶があり、本日の例会にお骨折の幹事さんに一同感謝の気持ち一杯でした。本日はお天気恵まれ有意義な旅行が楽しく出来て素晴

しい事でした。郊外に出ると森も茶畑もみずみずしい新緑におおわれて又新鮮な空気でも何とも気持ちよく心の疲れをいやしてくれれます。バスは十七時十五分に朝の集合場所に定刻迄に無事帰着して、皆さん秋季例会に元気で再会を約されて帰宅の途につかれました。(S・I記)

辰巳会東京支部 春の例会参加者

平成5年5月3日(水) 中伊豆・沼津 (五十音順 敬称略)

芦原 有一	加藤 福雄
安東 浄田	代ヨシコ
今村 三郎	田辺 満寿子
植田 三男	立花 忠実
上野 金治	長橋 忠男
請川 同	西川 明子
加地 彦太郎	同 伴
計	15名



◆原稿募集
内容 随想 短歌 俳句 詩
写真 鈴木往時の思い出 近況などを
必ず原稿用紙に縦書で
四百字詰五枚程度
締切 平成六年五月末日
送先 神戸市中央区磯辺通
一丁目一ノ三九
太陽鋳工株式会社内
「たつみ」編集部宛

辰巳会便り

橋本知一郎

(明石市)
昨今老衰気味で入院を繰り返しております。(92才)
平成六年二月十一日逝去(93才)

国広 五郎

(東京都)
最近体調を崩しがちで旅行等を自重致しております。(88才)

山本 鍊造

(神戸市)
最近体調を崩しがちで行動を自重致しております。(93才)

青柳 節子

(三島市)
父が亡くなって8年、神戸港を見ながら倉庫の番の折煙草は危ない

と云うのでパイプに変えて亡くなるまで父のトレードマーク。「桃山」と云う良い香りがいつもあたりにはしていました。その神戸となぜか御縁が出来そうな今日この頃。人の運命の不思議を痛感しながら心地よい風に吹かれています。

三軒 保

(神戸市)
〔故庄太郎氏子息〕
(株)ナブコ(旧日本エヤーブレーキ(株))の顧問として毎日出社しております。

亡夫の五十回忌法要を昨年3月に相済ませました。辰巳会の皆様方の長寿をお祈り申し上げます。(66才)

間室 太郎

(松山市)
〔故寿人氏子息〕
今年早くから全国大会に出席を

予定してりましたが、急な怪我で入院のため出席出来ず大変残念です。次回を楽しみにしております。

隅田 まさこ

(大阪市)
〔故三郎氏夫人〕
何時もお世話に成り有難う御座います。この場をお借り致しまして体の都合でこの先皆様についていけないと思っておりますので誠に残念ながら辰巳会を脱会させて頂きました。本日に永い年月有難う御座いました。会のお陰で楽しい思い出も有り皆様方にお世話になりました。情けなく思います。辰巳会の御発展と皆様方の御健康を陰ながらお祈り致して居ります。

栢山 寿郎

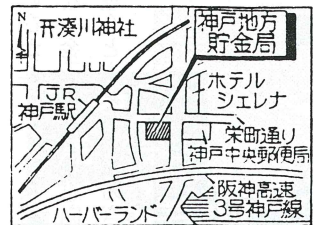
(秦野市)
金子直吉翁を偲び御冥福を御祈り申し上げます。昨今歩行の困難な年齢となり遠出を用心致して居ります。元気な気持ちでは居ります。(92才)

米倉 勇

(北九州市)
健康を一寸害して居りますが日々の動作はどうやらやっけて居ります。九州地区も殆ど私の知る人もなく且つ年を重ねる如に人は去り支部も休業状態であります。皆様方の御健康をお祈り申し上げます。(81才)

高木 きぬ

(静岡市)
〔故虎之助氏夫人〕
今大会こそ是非にと楽しみにして



名作を歩く

ひょうごの近代文学



米騒動の真実と滅びの美学

鼠―鈴木商店焼き打ち事件―

城山三郎

△一鈴木商店が、天下の不満を一身に引受けた形となった。焼き打ちを知って、西川はじめ鈴木商店の社員たちが駆けつけた。だが、夜空を焦がさんばかりの炎、十重二十重に囲んで喊声を上げる群衆相手に、手のだしようもない。▽

一九一八年(大正七年)八月十二日夜。神戸の湊川公園に集まった数千の群衆が、鈴木商店に押しかけ、火を放った。さらに、大番頭金子直吉を捕まえろと騒ぎ、その首に当時で金十万円もの賞金を懸けた。米価大暴騰は、鈴木商店の大量の米の買い占めが原因といううわさが流れた。ある新聞が繰り返し報じた。鈴木は財界の悪役で、あくどい商売が生活難にあえぐ庶民の反感を買ひ、焼き打ちに遭ったのだ、と。



お年寄りが木陰で将棋を楽しむ湊川公園。ここを起点に群衆のルートをとどめてみる。パチンコ店が軒を連ねる新開地商店街を南に抜けて、なだらかな下り坂の多間通りを東に。JR神戸駅東のガード下をくぐる。湊川公園から一キ半、時間にして三十分余り、当時、東川崎町一丁目(現在栄町通七丁目)に、ミカドホテルと呼ばれる豪華な旅館を改装した鈴木商店が確かにあった。今、面影を残すものはない。鈴木の跡にはクリーム色の外壁の神戸地方貯金局が建っている。

鈴木商店の栄枯盛衰を描いたノン・フィクション小説の著者△私▽は、米騒動から焼き打ちに至る経過に疑問を抱く。米騒動の研究文献を分析し、鈴木商店生き残りの人々から取材を始める。火を放った人物や鈴木攻撃の記事を書いた新聞記者からも裏付けを取る。事件の真相を求めて、神戸や鎌倉を歩く△私▽は、まるで目撃者を捜す刑事のようだ。

砂糖輸入がメインの個人商店にすぎなかった鈴木は、第一次世界

大戦後の景気をバネに世界的な大商社に躍進する。焼き打ちの前年の一七年(大正六年)には、貿易年商で三井物産を抜き日本一の座に就く。最盛時の鈴木系企業集団は六十五社からなり、従業員総数は二万五千人を超え、商社の国内外支店は百五十カ所に及んだ。

しかし鈴木だけが米騒動の悪役を引き受け、どうして他の商社は見過ごされたのか。そして社会の公器であるべき新聞が鈴木を諸悪の根源と書き立てたのはなぜか。

△私▽は、当時の政府の実力者が金子直吉と親交があったため、反対派の派閥や一部の新聞が、内閣打倒運動の格好の標的として鈴木を攻撃、それが世間の誤解を招くことになった、と時代背景を説く。買い占めの事実はでっち上げで、むしろ鈴木は米価値下げに貢献していたことが明らかになる。刑事は一躍冤(えん)罪事件の弁護士に。米騒動のスケープゴート、歴史の犠牲者である鈴木を救済を痛快なまでにやってのける。

同時に△私▽は、丁稚(てつち)上がりの大番頭金子直吉の劇

田中 清 (京都市)

謹んで金子翁の不退転の御生涯を偲び御冥福をお祈り申し上げます。お陰様にて引き続き夫婦とも元気に過ごして居ります。(88才)

町田 叡光 (東京都)

四年脳前卒中で倒れて以来現在リハビリテーションを続けて居ります。身体はまだ健康ですが何分歩けないので自宅療養を続けて居ります。(89才)

加藤 福雄 (逗子市)

金子直吉翁五十周忌謹而修し奉ります。三菱・三井を凌ぐ鈴木商店の隆盛を計られし御手腕まことに敬服の至りであります。小生本年93才恙なく暮らして居ります。

平成六年 米寿祝い対象者紹介 (明治40年生)

◎中屋伝太郎 ◎松本三四郎

平成六年 喜寿祝い対象者紹介 (大正7年生)

◎鈴木 治雄 ◎横田 周作
◎森 駿郎

平成五年 秋の叙勲 受章者の紹介
栄えある叙勲 受章心からお祝い申し上げます

◎荒木 正雄(勲三等 瑞宝章)
日商岩井(株)元副会長



物 故 者 名 簿

辰巳会事務局

御 芳 名	死 亡 年 月 日	享 年	最 終 勤 務 先
五十嵐 集	平成5年2月10日	89才	帝人・元本部幹部 専 長
西 川 一 蔵	〃 3月24日	82才	
大 松 康 祐	〃 5月26日	91才	大 阪 支 店 帝国造船(株)・国際汽船(株)
広 野 敬 吾	〃 7月9日	99才	
森 田 定 雄	〃 7月12日	88才	
佐 野 寿 夫	〃 7月13日	91才	東京支店輸入木材部
野 尾 英 一	〃 10月27日	82才	大 日 本 塩 業 (株)
博 田 博 明	〃 11月19日	89才	本 店 為 替 課 (株)日本商業経理課・元本部幹事
野 原 貫 五 郎	平成6年1月4日	94才	本店麦粉課・元本部幹事
小 倉 本 佐 四 郎	〃 1月5日	89才	本店麦粉課・元本部幹事
岡 本 健 吉	〃 1月17日	68才	帝人(株)相談役・元社長
外 嶋 儀 一 郎	〃 1月23日	91才	(株)神戸製鋼所相談役・元社長
中 嶋 本 知 一 郎	〃 1月30日	80才	日商岩井(株)・元監査役
橋 本 知 一 郎	〃 2月11日	93才	東邦金属(株)・元常務